

令和 3 年 12 月 23 日
日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所

試験研究炉 JRR-4 における排気筒モニタリング設備について

試験研究炉 JRR-4 については、原子力事業者防災業務計画に基づく排気筒モニタリング設備として、放出が想定される放射性物質の性状（ガス、塵埃）とその放射性物質の放出放射線の種類に応じた放射線測定器を選定し、ガス状の放射性物質については排気ガスモニタ（ γ ）1台、塵埃（ダスト）状の放射性物質については排気ダストモニタ（ β ）1台を設置・運用してきた。

廃止措置計画が認可されたことに伴い今後は試験研究炉 JRR-4 を運転しないことから、排気ガスモニタ（ γ ）での想定核種である Ar-41 等の希ガス類を放出することが無くなったため排気ガスモニタ（ γ ）を原子炉施設保安規定から削除することについて認可された（平成 29 年 11 月 29 日）。また、核燃料物質の使用の変更の許可（令和 2 年 5 月 1 日）に伴い排気ガスモニタ（ γ ）を核燃料物質使用施設等保安規定から削除することについて認可された（令和 2 年 12 月 21 日）。よって、原子力事業者防災業務計画に基づく排気筒モニタリング設備からも当該設備を削除する。

なお、廃止措置作業において放出される可能性がある Co-60 等については、引き続き排気ダストモニタ（ β ）において監視を継続していく。

以上